

水難事故を防げ!



「潜

水開始」。消防隊員の勇ましい掛け声が相模川に響きます。水難事故の発生を想定した救助訓練が始まりました。

訓練は毎年、アユ釣りやバーベキューなど河川敷でのレジャーが増える時期を前に実施。市内の各署や周辺自治体の消防署と連携し、水難事故の防止に取り組んでいます。

実際に事故が発生し119番通報が入ると、潜水士や船舶操縦士の資格を持った隊員たちが現場に急行します。空気ボンベを背負った水難救助隊員が川に潜り検索。溺れた人を発見すると、救命ボートなどを使って引き上げます。

厚木消防署の加藤隆英救助隊長(49)は「川の状況は刻々と変化する。以前浅かった場所も、深みに変わっていることがある」と注意を促します。

本格的な夏のレジャーシーズンを迎えました。注意事項をしっかりと守り、楽しく安全に川に親しみましょう。

閩警防課 ☎ 223 局 9368

水の事故にご注意を

市内の河川では毎年、水の事故が発生しています。流れが速い所や深みのある場所は、特に危険です。川でのレジャーには十分注意しましょう。

- 子どもたちだけで川などで遊ばない、遊ばせない
- 水辺にいる子どもから目を離さない
- 自分の技術を過信せず、決して無理をしない
- お酒を飲んだら、絶対に水に入らない
- 溺れている人を発見したら大声で付近の人に知らせ、すぐに119番通報する
- 応急手当での知識を身に付ける《7面に関連記事あり》

目次

こちらから

2面 毎年受けよう特定健診

生活習慣病を予防するために、特定健診を実施しています。毎年1回受診し、健康状態を確認しましょう。

3面 市民の声を生かすまち

皆さんの声をまちづくりに生かすため、市民満足度・市民意識調査を実施します。ご協力をお願いします。

4・5面 活躍する「起業家」たち

起業を目指す人を支援する「あつぎ起業スクール」。スクール出身で創業を果たした2人を紹介します。

6・7面 タウンガイド

催し・講座・子育て・募集・お知らせなど、暮らしに役立つ便利な情報が満載。

健康

トピック

メタボは体の異変を知らせるサインです

毎年受けよう特定健診

メタボリック症候群（Ⅱ内臓脂肪症候群。以下、メタボ）は生活習慣病につながる可能性があります。早期に発見し改善することが大切です。いつまでも健康な生活を送れるよう、年に一度**特定健康診査（特定健診）**を受けて、**健康状態を確認**しましょう。

特定健診は、メタボやその予備群を発見するための健診です。メタボは、糖尿病や高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病を引き起こす可能性を高める厄介な病気。早期に発見し、生活習慣病の発症を防ぎましょう。

年に1回の受診を

市では、40歳から74歳までの国民健康保険に加入している方を対象に、特



健診時間は30分程度。気軽に受診できます

受診の流れ

国民健康保険に加入している対象者には、6月中旬に受診券を発送しました。受診券の内容を確認して受診しましょう。



◆医療機関に予約

受診券に同封されている「医療機関一覧」から、希望する医療機関に直接申し込む。

◆特定健診を受診

受診券と健康保険証を持ち、健診を受診する。

受診費用
1,500円※

◆健診結果の通知

受診後、健診結果を通知。メタボやその疑いがある人には、特定保健指導を案内。

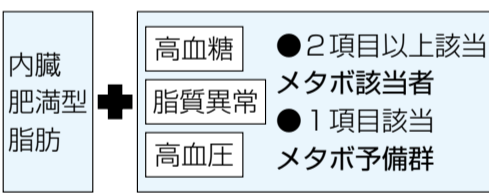
※平成25年度市民税非課税世帯の方は、費用免除になります。受診の1週間前までに、保健センターまたは国保年金課へ申請してください。

該当者のみ

《特定保健指導の対象者》

◆特定保健指導

生活習慣の改善に向けて、保健師などの専門スタッフが指導します。**無料**



定健診を実施しています。対象者には、6月中旬に受診券を発送しました。健診項目は、身長・体重・腹囲・血圧の測定、血液・尿検査など。健診時間は30分程度です。

昨年10月に初めて特定健診を受診した白須好子さん（62・山際）は「夫の勧めで受けました。簡単な検査内容で時間もかからなかったので、気軽に受けられました」と笑顔で話します。

保健指導で改善をサポート

健診の結果、メタボに該当した方やその予備群の方には、無料で特定保健指導を実施しています。保健師や栄養士などの専門スタッフが、一人一人の

受診期間は、平成26年1月31日までです。数値の変化を把握するためにも、年に1回特定健診を受診し、体の状態を確認しましょう。

あつぎ 元気Wave
CATV 7/1~放送

ひとまち 元気



来園者やバラを手入れする皆さんと

市長
小林 幸良

相模川のほとりに、美しいバラに彩られたスポットが誕生しました。「相模川ローズガーデン」です。旭町の河川敷に、55種・1270本が植えられ

ています。地元住民や団体、会社経営者などをつくる「相模川景観づくり推進会」と市・県との協働で、4年をかけて整備してきました。

バラ園造りは「小田急線などから、真っ先に厚木を認識できる新たな眺望景観を」という思いから始まったそうです。平成22年に植えた小さな苗は丹精込めて育てられ、美しい花を咲かせました。活動を続けてきた皆さんの努力には、頭が下がります。

厚木市は、河川によって栄えた「川のまち」です。市では「母なる川・相模川」の魅力をさらに高めようと、水辺の拠点づくりに取り組んでいます。バラの花言葉に「愛」があります。

河川敷のバラは、たくさんの愛情を受けて大きく育つでしょう。私も多くの市民の皆さんが、愛着を持って川に親しめる環境づくりに努めていきます。

健康的な生活習慣を

ことし4月まで特定保健指導を受けていた白須さんは「食事や運動などできめ細かいアドバイスをしてもらいました。今では毎日、夫と散歩をするようになり、充実した生活を送っています。体質の変化も実感しています」と指導の効果を喜んでいました。

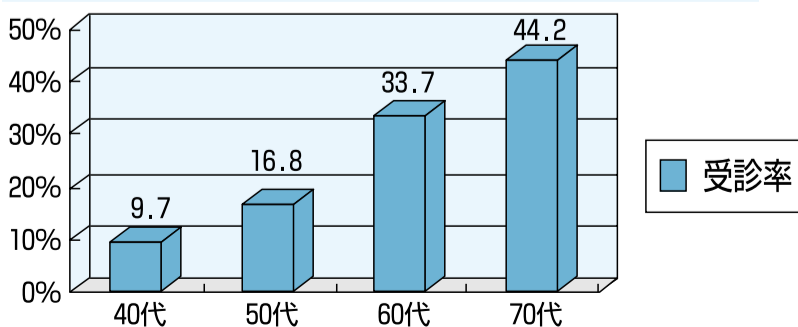
特定健診の受診率は、40～50代が低い状況です（下グラフ参照）。生活習慣病は、自覚がないまま症状が進行してしまう恐ろしい病気。いち早く異常を発見し、食事、運動、喫煙などの生活習慣を見直すことが、体質改善につながります。

早期発見・治療のために、40歳を過ぎたら毎年受診して、健康的な生活習慣を心掛けましょう。

国保年金課 ☎225局21200

平成24年度特定健診年代別受診率

特定健診の受診率は、働き盛りの40～50歳代が低い状況です。メタボの発見は早期であるほど改善も簡単です。40歳を過ぎたら毎年受診しましょう。



調査にご協力ください



実施期間 7月5日～23日

①市民満足度調査 企画政策課 ☎225局2455

《対象》市内在住の18歳以上の方3,500人（無作為抽出）
《内容》7分野34項目（福祉、教育、環境、交通など）の満足度・重要度と総合満足度

②市民意識調査 広報課 ☎225局2043

《対象》市内在住の18歳以上の方5,000人（無作為抽出）
《内容》15分野66項目（定住意向、市民生活、防犯、まちづくりなど）

調査方法

対象者には、7月5日に調査票を郵送します。同封の返信用封筒で返送をお願いします。

結果の公表

調査結果は、広報あつぎや市ホームページなどで公表します。②の報告書は、市政情報コーナー、公民館、中央図書館などでご覧いただけるほか、市政情報コーナーで販売（1部450円）します。

トピック

調査

市民満足度・意識調査を実施します 市民の声を生かすまち

市では、市民の皆さんの声をまちづくりに反映するため、定期的にアンケートを実施しています。結果は、市の総合計画「あつぎ元気プラン」の進行管理や、きめ細かな政策展開に向けた基礎資料として活用していきます。アンケートにご協力いただき、皆さんの声をお聴かせください。

あつぎ元気プランの成果を検証

市民満足度調査は、市のまちづくりの設計図「あつぎ元気プラン」の成果を検証する調査です。プランに基づき実施した事業に対して、市民の満足度を把握。今後の施策展開につなげようと毎年実施しています。

昨年度は、福祉・教育・環境・交通など7分野34項目を調査。うち31項目で、前回の調査に比べて満足度が向上しました。平均値は56・6%で、前回から3・4ポイント上昇しています。最も満足度が高かった項目は「資源とごみの分別の取り組み」（84・1%）で、続

市は、平成21年度に総合計画「あつぎ元気プラン」を策定しました。将来都市像「元気あふれる創造性豊かな協働・交流都市あつぎ」を目指したまちづくりを進めています。より良い厚木市をつくるためには、市民の皆さんの声をお聴かせください。市では、皆さんの声を市政に生かすため、7月5日から「市民満足度調査」と「市民意識調査」を実施します（左欄参照）。

市民の意識や要望を把握

市では「市民満足度調査」に加え、市民生活に関わりの深い事や、市に対する思いなどを聴く「市民意識調査」を2年に一度実施しています。調査結果は、事業を実施する担当部署が分析し、きめ細やかな政策展開のための資料として活用しています。

23年度は、市民生活・まちづくりなど66項目を調査しました。「定住意向」の設問には、7割の方が「住み続けたい」と回答。安心安全なまちを目指す「セーフコミュニティ」への関心の高さなども確認できました。

積極的な市政参加を

二つの調査は、今後の市政を検討する上でとても大切な資料となります。しかし、調査票の回収率は50%程度にとどまっています。市は、自治基本条例や市民参加条例を制定するなど、市民の皆さんの視点を大切にしたまちづくりに取り組んでいます。調査は、アンケートを通じた市政への市民参加です。調査へのご協力をお願いします。

企画政策課 ☎225局2455（満足度調査）
広報課 ☎225局2043（意識調査）

外部評価を実施

～市の事業を公開で点検・評価～

市では、行政運営のさらなる効率化や市民サービスの向上を目指し、「外部評価」を実施しています。皆さんも傍聴してみませんか。☑当日直接会場へ。

◆7月24日（水）本庁舎4階 大会議室

17時～	老人保養施設等利用助成金（施設などの利用料金の一部助成）
18時～	市民協働推進事業（市民協働による施策の推進）
19時～	文化会館維持管理事業（文化会館の維持管理）

◆7月28日（日）ヤングコミュニティセンター ホール250

9時30分～	母子家庭等家賃助成事業（母子家庭などの負担を軽減）
10時30分～	ヤマビル対策事業（ヤマビルが生息しにくい環境整備を推進）
11時30分～	自立経営農家育成資金融資事業（農業者への低利の融資）

◆7月31日（水）本庁舎4階 大会議室

13時30分～	地区地域福祉推進委員会交付金（地域の実情に応じた福祉活動を行う、地域福祉推進委員会の活動を推進）
14時30分～	元気アップスクール推進事業交付金【小・中学校】（特色ある学校づくりを推進）
15時30分～	家庭教育学級交付金（保護者に学習の機会を提供）

行政経営課 ☎225局2160

平成25年度 市民参加手続きの予定

本年度に実施する市民参加の予定をお知らせします。市民の皆さんのご意見をお待ちしています。《6面に関連記事あり》
☎広報課 ☎225局2043

☎=審議会等 ☎=意見交換会 ☎=意向調査 ☎=パブリックコメント ☎=市民討議会
☎=保護者説明会 済=実施済み 未=未定

	対象行為	市民参加の内容・予定
条例の制定・改正	(仮)あつぎ元気館の公共施設設置条例の制定	☎済 ☎7月 ☎9月
	(仮)厚木市客引き行為等防止条例の制定	☎5～9月 ☎7月 ☎9月
	(仮)里地里山保全促進条例の制定	☎5～11月 ☎7月 ☎9月
	厚木市自転車の放置防止に関する条例の改正	☎未 ☎未 ☎7月 ☎未
	厚木市営自転車等駐車場条例の改正	☎未 ☎未 ☎7月 ☎未
基本構想・計画、重要政策	厚木市社会教育委員条例の改正	法律改正に併せて☎☎☎を実施
	厚木市保育所民営化実施計画の策定	☎済 ☎済 ☎済 ☎7月
	厚木市情報プラザの在り方の検討	☎7月 ☎済 ☎8月
	(仮)厚木市教育委員会基本方針及び第3期厚木市教育充実プランの検討・策定	☎5～7月 ☎8月 ☎12月
	厚木市スポーツ振興計画の改訂	☎6月～4回 ☎7月 ☎12月
	厚木市文化芸術振興プランの検討・改訂	☎6月～4回 ☎10月 ☎H26.6月
	第2次厚木市生涯学習推進計画の検討・改訂	☎6月～3回 ☎10月 ☎H26.6月
	第9次厚木市総合計画「あつぎ元気プラン」第2期基本計画の策定	☎7月～H27.2月 ☎H25～26で2回 ☎H26.8月
	(仮)北部地区公園基本構想の策定	☎済 ☎未 ☎未
	放課後における子どもの在り方の検討(任意実施)	☎5月から年3回ほか

※個別の募集と今後追加となる市民参加は、随時お知らせしていきます。

特集 あつぎ起業スクール

活躍する『起業家』たち

新たなアイデアを実現したり、サービスを提供したりするために、多くの人が起業を志している。そんな人々を応援するため、市では毎年「あつぎ起業スクール」を開講。毎年新しい起業家たちが羽ばたいている。起業スクール出身で活躍している2人の起業家に迫った。



あつぎ 元気Wave
CATV 7/1~放送

ケーブルテレビで
関連番組を放送。
(時間は6面)

起業が地域に与える影響は大きい。利便性の向上や地域経済の発展、雇用の創出など、私たちの生活にも深く関わってくる。起業しやすい環境をつくらうと、市では平成20年から「あつぎ起業スクール」を実施。これまで250人が受講し、28人が起業を果たしている。

存続の声を受けた船出

平 成23年1月、厚木一番街にあったCD・楽器ショップ「タハラ」が閉店した。その間際、当時店長を務めていた町田良男さん(42)には、多くの声が寄せられていた。「ずっと利用していたので寂しい」「これからどこで買えばいいのか」。町田さん自身もどかしい気持ちを抱えながらも、店は閉店の日を迎えた。

❖後悔しなくなかった

「店を欲している人たちがいる。何とかしたい」。町田さんは厚木市内で店を出すことを考えた。だが、CDの売り上げは全国的に年々減少。採算が取れるか「お客さんは来るか」と不安が頭をよぎり、なかなか踏み切りがつかなかった。

その後、東日本大震災が発生した。衝撃を受けた町田さんは「人生いつ何が起るかわからない。後悔しないようにやりたいことをやる」と、店を構える決意を固めた。

❖奔走する日々

経営者としての経験はまるでない。町田さんは「タハラ」時代の人脈を頼りにいろいろな人に話を聞き、手探りで準備を進めた。



地域に密着した店をモットーにする町田さん。リクエストに応え、店内には幅広いジャンルの音楽が並んでいる

❖地域に密着した店

家族や親、兄弟にも支えられた。妻のかすみさんは、起業することを告げられると「やりたい事をやって」と背中を押した。「仕事に対する強い思いを分かってくれた」と、町田さんは今も感謝を忘れない。23年6月に会社を設立。9月、CDと楽器を扱う店を本厚木駅南口にオープンさせた。

「以前と比べてお客さんとの距離がぐっと縮まった」と感じている町田さん。地域密着の店を目指し、客の要望に応えられる品ぞろえを意識している。厚木市出身アーティストのコーナーを設けたり、駆け出し中のバンドのCDを置いたり、地元音楽のサポートにも熱心に取り組む。

❖良い音楽を届けたい

「3年乗り切るのが今の目標」。音楽業界全体が厳しい状況の中、町田さんはそう話す。その先には、店舗の拡大やCDの宅配サービスなど新たな展開を考えている。

プロが起業をサポート あつぎ起業スクール

「あつぎ起業スクール」では、開業の手続きから創業計画書の作成まで、起業に欠かせない知識を幅広く学ぶことができます。中小企業診断士や税理士、経営コンサルタントなど、4人の個性あふれる講師が、さまざまな角度から講義を展開。受講後の個別相談など、創業後のサポート体制も万全です。



昨年の様子

講師からヒトコト

税理士・猪熊正美さん(43)

起業スクールには漠然と「こんなことをやりたい」と思っている人から、具体的なプランを持っている人まで、いろいろな人が集まっています。年代も幅広く男女比も同じくらいですが、志は一つで一体感があり、皆さん真剣です。知識の習得だけでなく、相談相手ができたり、アイデアをもらったり、モヤモヤしていたことが明らかになったりする場でもあります。



私たち講師陣は、起業するなら絶対に成功してほしいという思いがあるので、時には厳しいアドバイスをすることもあります。講師陣も毎回が真剣です。約1カ月半に及ぶ講座ですが、きっと新しい発見があると思います。

快適な生活を提案



棚に入っていた物を全て出し、依頼人と話をしながら作業を進める小林さん

「仕上げが終わった時のお客様の笑顔が一番うれしい」。そう話すのは、「整理収納アドバイザー」の小林直美さん(40)。昨年1月に開業し、効果的な片付けで心豊かな暮らしを提案している。

❖暮らしに役立つ仕事

千葉県出身。市内にある東京工芸大学で建築を学び、2級建築士の資格を取得した。

結婚・出産を経て、市内のリフォーム会社で働く日々を送っていた小林さん。仕事のスキルアップのために取得した「整理収納アドバイザー」の資格が、小林さんの心を大きく動かした。

「暮らしに役立つ整理収納に関わる仕事をしたい」と決意し、会社を辞めた。アドバイザーの資格を生かせる仕事を探したが、近くにはなかった。子どもがいるため、遠くまで働きに出るのは現実的でなかった。

「それなら」と、小林さんは自ら会社を立ち上げようとした。不安はあったが「整理収納の大切さを伝えたい」という気持ちの方が強かった。

❖「モノ」と向き合う

森の里にある自宅をオフィスにし、同じ業務を手掛けるサービス会社と提携。ホームページや広告などを使って

実は小林さんが起業スクールに参加したのは、起業した後だった。「仕事は始めていたけど、進め方や資金面などを学びたかった。講師に5年、10年と先を見据えた事業計画や、事業を広げられる進め方など、多くのアドバイスをもらった。同じ志を持つ人たちとの出会いも大きい。一緒に受講した仲間が開業したと聞くのが励みになる」。

あつぎ 元気Wave

平成25年度
あつぎ起業スクール
受講生募集
ウェブ申 130154

ことしで6年目を迎える「あつぎ起業スクール」。「起業したい」「かなえたい夢がある」そんなあなたを待っています。
【日時】8月31日、9月7・14・21日、10月5・12日(全6回) 13時~17時
【会場】勤労福祉センター
【内容】(予定)
第1回=経営者の心構えと基礎知識(事業形態、届け出など)
第2回=資金調達、会計の仕組み、マーケティング戦略
第3回=売れる仕組み、先輩創業者体験談
第4回=ビジネスプランの作り方(経営計画・収支計画の立て方)
第5回=ビジネスプランの作成、個別アドバイス
第6回=ビジネスプランの発表・講評
【定員】全ての講義に出席できる方40人(市内で起業予定・市内在住在勤在学の方を優先して選考)
【受講料】2,000円(テキスト代含む)
【申込】八ガキ、ファクスに〒住所、氏名、年齢、電話番号、受講動機(50字以上)、志望業種を書き、8月12日(必着)までに〒243-8511産業振興課 ☎225局2832・☎223局7875へ。

新規創業を応援 創業者支援利子補給金

新たな創業者を応援するため、厚木市内で開業し、一定の条件を満たす方に利子補給を実施します。
※平成25年4月1日以後の融資から適用
【対象】①市内で開業し、営業を継続している②創業のために必要な融資を日本政策金融公庫から受けている③融資実行日の前後6カ月以内に開業している④市税を完納している⑤の全てを満たす方
【金額】支払済利子(延滞に係る利子を除く)の1/2(6カ月10万円を限度、1,000円未満切り捨て)
【期間】融資実行月から24カ月
申し込みなどの詳細は、市ホームページをご覧ください。産業振興課 ☎225局2832へお問い合わせください。

夏休み親子講座

「もっと知ろうよ！お肉のこと」

8月6・7日、10時～12時。県食肉衛生検査所（酒井892-1）。肉の検査方法や安全な食べ方などを獣医師が説明。県内在住の小学5・6年生とその保護者各日12組。無料。☎電話またはファクスに〒住所、氏名、電話番号、参加希望日を書き、7月16日までに食肉衛生検査所☎228局3516・FAX227局6924へ。抽選。

初心者向けパソコン教室

7月29日～8月1日（全4回）。9時30分～12時。厚木商業高校（王子3-1-1）。文書作成の基本を学ぶ。市内在住在勤の18歳以上でパソコン初心者の方36人。950円（教材費）。☎ハガキ、ファクスに〒住所、氏名（ふりがな）、電話番号を書き、7月12日（必着）までに〒243-8511文化生涯学習課☎225局2512・FAX225局4612へ。抽選。ウェブ申☎130136

ニューブリテン市友好都市締結30周年記念・写真募集

友好都市締結30周年を記念し、ニューブリテン市で撮った写真を募集します。
《募集作品》街並みや風景、行事などの写真（データでも可）《提出方法》直接または郵送（〒住所、氏名、電話番号を明記）で7月16日（必着）までに〒243-8511秘書課☎225局2050へ。選考あり。

職業能力セールスポイント表現講座

7月19日、9時30分～16時30分。勤労福祉センター。自分を効果的にアピールする方法を学ぶ。県内在住在勤在学の方15人。無料。☎7月18日までに人材育成支援センター☎0466-28局3535へ。申し込み順。

少年少女消防教育参加者募集

8月7日、9時～16時30分。県消防学校（下津古久280）。消防車両の体験乗車、放水体験、煙・地震の防災体験など。市内在住の小学3年～中学3年生20人。510円（昼食代、キャンセル時の返金は不可）。☎7月11・12日に参加費と印鑑を持ち、予防課☎223局9371へ。申

申し込み順。☎230002

「あつぎジャズナイト」市民ボランティア募集

8月22・23日、14時～21時30分。厚木公園。18歳以上の方。会場準備・運営補助、インフォメーション、広報活動など。事前準備を手伝える方歓迎。☎7月12日までに商業にぎわい課☎225局2840へ。

「あつぎ国際大道芸」ボランティアなどを募集

①ボランティアスタッフ
11月9・10日、8時～17時。高校生以上の方60人程度。アーティストの付き添い、会場運営補助、インフォメーション、フェースペイントなど。申し込み順。

②あつぎグルメフェア出店者
11月9・10日、10時30分～18時。厚木公園。市内の店舗16店程度。普段扱っている飲食物の販売。40,000円（出店料）。抽選。

☎①は電話またはファクス、Eメールに〒住所、氏名、電話番号、生年月日を書き、8月30日までに、②は商業にぎわい課にある申込書（市ホームページからダウンロード可）を直接またはファクスで7月19日までに〒243-0018中町2-10-5商業にぎわい課☎225局2840・FAX221局7790・e-mail=nigiwai-dokoro@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

ひとり親家庭等医療証送付用封筒への広告主を募集

ひとり親家庭等医療証の送付用封筒に掲載する広告を募集します。
《発送枚数》約2,000枚《募集期間》7月1日～31日。詳細は市ホームページをご覧ください。☎子ども家庭課☎225局2241。

子ども育成推進委員会の臨時委員を募集

平成27年度から始まる「子ども子育て支援新制度」の事業計画などを審議する臨時委員を募集します。
《対象》①市内在住在勤在学で応募日現在18歳以上②平日昼間の会議（年5回程度）に出席できる③他の付属機関の委員でない④市の議員・職員でない⑤の全てを満たす方若干名《任期》8月（予定）から2年間《報酬》1日7,800円（交

あつぎ 元気Wave

ケーブルテレビ

あゆチャンネル(11ch)

放送時間(15分)

7月の広報番組ガイド

7月1日～15日

◆活躍する「起業家」たち
あつぎ起業スクールから羽ばたいた起業家たちを紹介

①12時～②19時30分～③22時45分～ ※内容は変更する場合があります。

番組はホームページ動画配信 あつぎ元気Wave 検索 CATV放送開始後に配信

通費含む）。☎子ども育成課にある申込書（市ホームページからダウンロード可）に必要事項と応募動機（400字程度）を書き、直接または郵送、ファクス、Eメールで7月31日（必着）までに〒243-8511子ども育成課☎225局2262・FAX221局0261・e-mail=2180@city.atsugi.kanagawa.jpへ。書類選考、面接あり。

市営自動車駐車場指定管理者を募集

《期間》平成26年4月1日から5年間《資格》法人またはその他の団体（個人は不可）。☎中心市街地整備課にある申請書（市ホームページからダウンロード可）に必要書類を添えて7月22日～31日に中心市街地整備課☎225局2854へ。

ふれあいプラザ指定管理者を募集

《期間》平成26年4月1日から4年間《資格》法人またはその他の団体（個人は不可）。☎環境事業課にある申請書（市ホームページからダウンロード可）に必要書類を添えて7月22日～31日に環境事業課☎225局2790へ。

外国人住民の方にも住基ネットの運用を開始

7月8日から外国人住民の方にも住民基本台帳ネットワークシステムの運用が始まり、住民基本台帳カードの交付を受けられるようになります（500円）。運用開始後、住民票コードが記載された「住民票コード通知票」を郵送します。☎市民課☎225局2110。

7月は「社会を明るくする運動」強調月間

犯罪や非行のない明るい社会を築くため、各地区で街頭啓発活動を実施します。☎福祉総務課☎225局2200。

情報プラザの駐車場が変わります

8月1日から情報プラザ（岡田3050）の駐車場の場所が変わります。詳細は市ホームページまたは館内掲示をご覧ください。駐車台数には限りがあります。☎情報プラザ☎221局2711。

宅地建物取引業協会の相談会

7月20日、10時～16時。宅地建物取引業協会県央支部（水引11-8-22）。専門家が法律や税金、不動産取引などを相談。弁護士相談も実施（要予約）。無料。☎宅地建物取引業協会県央支部☎224局6561。

みんなの声でつくるまち

《意見交換会》

●（仮称）里地里山保全促進条例の制定
7月29日、19時～20時30分。市役所本庁舎。☎当日直接会場へ。☎環境総務課☎225局2746。

●（仮称）あつぎ元気館の公共施設設置条例の制定
7月27日、10時～11時30分。市役所本庁舎。☎当日直接会場へ。☎あつぎ元気館整備担当☎225局2833。

《意向調査》

◇市営自転車等駐車場条例、自転車の放置防止に関する条例の改正
《閲覧期間》7月1日～31日《閲覧場所》くらし交通安全課、市政情報コーナー、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、各駐輪場、市ホームページなど《応募資格》市内在住在勤在学の方または市内で活動する個人・法人・団体《応募》閲覧場所にある応募用紙を備え付けの「わたしの提案」箱に投函するか、直接または郵送、ファクス、Eメールで7月31日（消印有効）までに〒243-8511くらし交通安全課☎225局2760・FAX221局0260・e-mail=3400@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

簡単に彫れて、みんなで楽しめる

石彫アート教室 in 荻野運動公園

天然石「コーガ石」を使った石彫体験をしてみませんか。

《日時》8月2日～4日 10時～16時

（最終日は14時まで）

《会場》荻野運動公園 多目的広場特設テント

《コース》A荻野運動公園に設置コース：50個。無料。完成した作品は公園内に設置。Bお持ち帰りコース：50個。1,000円（石代）。

☎ファクス、Eメールに〒住所、氏名、電話番号、参加人数（石の個数）・参加希望日・コースを書き、7月19日までに文化生涯学習課☎225局4612、あつぎ素敵美術館をつくる会・肱元e-mail=hijimoto_hitomousu@ybb.ne.jpへ。抽選。参加者には後日参加票を送付。

☎文化生涯学習課☎225局2510

参加者募集！



あつぎ鮎まつり大花火大会

有料観覧席のチケットを販売

約1万発の迫力ある花火を、打ち上げ地点の近くで観覧しませんか。

日時 8月3日 19時～
（荒天の場合は翌日に延期）

会場 相模川三川合流点厚木側河川敷

販売開始 7月4日 10時～
（予定枚数に達し次第終了）

販売場所 セブン-イレブン全店
（セブンコード：024-292）

チケット 1席2,500円（全席指定）

席数 2,000席

☎あつぎ鮎まつり実行委員会☎295局5496



間近で花火を体験

タウンガイド

7月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

マイタウンクラブ

印の番号でウェブ上からも、詳しい情報をご覧いただけます。「ウェブ申」と記されたものは、ウェブ上から申し込みができます。

www.mytownclub.com
[携帯電話は末尾に/cpを]

夏休み子ども茶道教室

①8月6日②8月7日③8月9日、10時～15時。ヤングコミュニティセンター。市内在住の①小学1・2年生②小学3・4年生③小学5・6年生・中学生、各回15人。500円(茶菓子代)。**印**直接またはハガキ、ファクスに教室名、〒住所、氏名(ふりがな)、電話番号、学校名、学年、保護者名を書き、7月19日(必着)までに〒243-0018中町1-1-3青少年課 ☎225局2580・FAX224局9666へ。抽選。**ウェブ申**①130047②130048③130049

第1回子ども自然体験教室

8月12日～16日(4泊5日)。七沢自然ふれあいセンター(七沢2440)。ロッククライミング、カヌー、沢歩き、野外炊事など。市内在住の小学4～6年生50人(グループ不可)。6,700円。**印**7月20日までに七沢自然ふれあいセンター ☎248局3500へ。抽選。**ウェブ申**①130147

こどもえいがかい

7月18日、14時～15時30分。依知南公民館(下依知406-1)。友達や人への思いやりの大切さを伝えるアニメ映画の上映。小学生100

人(親子での参加も可)。無料。**印**当日直接会場へ。**印**人権男女参画課 ☎225局2215。①130046

7月青春劇場スケジュール

6日=唄う!青春劇場カラオケ大会(ゲスト・浪ちひろ)。17時～18時。商工会議所。定員100人。入場料1,000円。**13日**=青春のパフォーマンス。15時30分～16時30分。湘北短期大学(温水428)。定員100人。入場無料。**印**当日直接会場へ。「唄う!青春劇場カラオケ大会」**出場者募集**

個人・団体問わず募集します。「あゆチャンネル」で生放送されます。出場料8,000円(当日の入場チケット8枚付き)。詳細や申し込みは、商業にぎわい課 ☎225局2840へ。

出張健康相談

7月8日、9時30分～11時30分。保健センター。健康相談や血圧測定、検尿など。**印**当日直接会場へ。**印**健康づくり課 ☎225局2201。

歯と歯ぐきの健康相談

7月12日、9時30分～11時30分。保健センター。歯科衛生士が歯間ブラシの効果的な使い方を個別指

導。無料。**印**当日直接会場へ。**印**健康づくり課 ☎225局2201。①130156

応急手当講習会

◆小学生対象救命入門コース

①7月24日②7月25日、10時～11時30分。市内在住の小学4～6年生30人。**ウェブ申**①120893②120894

◆中学生対象普通救命講習会

7月26日、9時～12時。市内在住の中学生30人。**ウェブ申**①120895

いずれも会場は消防本部。応急手当での必要性、心肺蘇生、自動体外式除細動器(AED)の取り扱いなどを学ぶ。入門コースは親子での参加も可。無料。**印**7月11日までに救急救命課 ☎223局9365へ。抽選。

応急手当普及員講習会

7月30日～8月1日(全3回)。9時～17時。睦合分署(三田1475-1)。事業所や地域などで応急手当を教えられる「応急手当普及員」の資格を取得。市内在住在勤在学の18歳以上の方30人。3,570円(テキスト代)。**印**7月1日～11日に救急救命課 ☎223局9365へ。抽選。①120896

第15回市消防団消防操法大会

7月28日、9時～12時。睦合分署。市内の消防団各分団の代表15部が訓練の成果を競い合います。皆さんの温かいご声援をお願いします。**印**警防課 ☎223局9368。

骨粗しょう症検診と予防講座

8月1・3・5・6日、9時～16時(12時～13時を除く)のうち1時間程度。保健センターほか。骨密度測定と骨粗しょう症予防講座。市内在住の30歳以上の女性で、現在骨粗しょう症の治療を受けていない方350人。800円(今年度市民税非課税世帯と生活保護法による被保護世帯の方は免除)。**印**ハガキに「骨粗しょう症検診申し込み」、〒住所、氏名、生年月日、年齢、電話番号、希望日時を書き、7月16日(消印有効)までに〒243-0018中町1-4-3健康づくり課 ☎225局2201へ。抽選。

環境市民学習講座「バスで行く施設見学会」

7月30日、9時～16時。環境エネルギー館(横浜市鶴見区)。環境やエネルギーについて学ぶ。市内在住在勤

在学の小学生以上の方25人(小学生は保護者同伴)。無料(昼食をお持ちください)。**印**電話またはファクスに〒住所、氏名、年齢、電話番号を書き、7月16日までに環境総務課 ☎225局2749・FAX223局1668へ。抽選。

市斎場施設見学会

7月15日、18時30分～。市斎場(下古沢548)。現地集合。施設の見学と葬儀の説明。終了後「市民の葬儀プラン」の個別相談も可。定員50人。無料。**印**7月1日～14日に市斎場 ☎281局8595へ。申し込み順。

第3回やんべ夜市

7月12日～8月17日の金・土曜(7月20日、8月2・3・9・10日を除く)。17時～21時(土曜は15時～21時)。厚木公園。ご当地グルメの販売。7月27日、8月17日はコンサートや大道芸なども実施。**印**やんべ夜市実行委員会 ☎221局0409。

体育協会のスポーツ教室

■初心者ボウリング教室

7月27・28日(全2回)、10時30分～12時30分。厚木ツマダボウル(妻田北1-11-14)。基礎技術の講習。市内在住在勤在学の小学生以上の方30人。1,500円。**ウェブ申**①130171

■初心者ジュニアゴルフ教室

7月29日～31日(全3回)、9時30分～11時。南毛利スポーツセンター(温水西1-27-1)ほか。基礎技術の講習。市内在住の小学生15人。3,000円。**ウェブ申**①130085

いずれも申し込みは、ハガキ、ファクスに教室名、〒住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を書き、7月15日(必着)までに〒243-0039温水西1-27-1市体育協会 ☎247局7212・FAX248局7151へ。

第4回厚木市長杯争奪グラウンド・ゴルフ大会

7月14日(雨天の場合は7月20日)、9時30分～15時。南毛利スポーツセンター。男女別個人戦32ホール。市内在住または市グラウンド・ゴルフ協会に登録している方。600円。**印**ハガキに〒住所、氏名、年齢、性別、電話番号を書き、7月6日(必着)までに〒243-0031戸室3-9-6市グラウンド・ゴルフ協会事務局・熊谷 ☎090・6703・8826へ。

江戸時代からの伝統を今に伝える

第37回相模ささら踊り大会

ささら踊りは、竹で作った「ささら」を持ち、太鼓と唄に合わせて踊る県指定の無形民俗文化財です。県内のささら踊りの保存会8団体が一堂に会した大会に、ぜひご来場ください。

入場無料

《日時》7月26日 13時30分～
《会場》荻野運動公園体育館(中荻野1500)
《出演》愛甲・長谷ささら踊り盆唄保存会ほか
《特別出演》飯山白龍太鼓

印当日直接会場へ。①130153
印文化財保護課 ☎225局2509

ささらを鳴らして踊るのが特徴


第51回市民文化祭出演者募集

市民文化祭「芸能音楽発表」への出演者を募集します。

催し物	発表日	会場	代表者	連絡先
民謡		文化会館大ホール	立脇	☎220局0456
剣詩舞	10月27日		金子	☎221局0114
詩吟			関屋	☎224局6802
歌謡演歌	11月1日	文化会館小ホール	横尾	☎225局0870
歌謡・ダンス	11月2日		望月	☎228局7289
音楽発表会	11月3日	文化会館小ホール	飯塚	☎291局1787
日舞	10月27日		山本	☎241局5609
義太夫	11月3日		宇津木	☎247局3025
箏曲		小瀬村	☎247局0066	
謡曲			村田	☎228局3996

音楽発表会の対象は、市内で活動するクラシック系のアンサンブルで、音楽協会の会議(4回)に全て出席できる方。歌謡演歌、歌謡・ダンス、音楽発表は参加料あり。

印文化生涯学習課や公民館などにある申込書(市ホームページからダウンロード可)に必要な事項を書き、7月31日(音楽発表会は12日)までに各代表者へ。抽選。
印文化生涯学習課 ☎225局2510

フリーダイヤル さわやか1番 よいところ
合言葉は  **0120-31-4156**



医師やカウンセラーが対応するので安心 (写真はイメージ)

「はい、こちらはあつぎ健康相談ダイヤル24です。どのようなご相談ですか」。受話器から聞こえる優しい声が落ち着かせます。あつぎ健康相談ダイヤル24は、市民の皆さんの健康相談などに、医師やカウンセラーが24時間・年中無休、無料で答えるサービスです。開始から3年がたち、平成24年度の利用件数は、1万6千件を超えました。「かかりつけの病院が休診だった時、自宅近くの病院を紹介してもらいました。不安だったのですぐ助かりました」と話すのは、小菅聡子

さん(36・毛利台)。ある土曜日の夕方、娘のゆかりちゃん(2)が39度の熱と吐き気に苦しんだ時に、あつぎ健康相談ダイヤル24を利用しました。皆さんの健康を支えるあつぎ健康相談ダイヤル24。「救急車を呼ぶか迷っている」「家族の介護のことで相談したい」など、さまざまな相談に応じています。合言葉は「さわやか1番よいところ(0120・31・4156)」です。お気軽にご相談ください。
問 健康医療課 ☎225局2174

あつぎ健康相談ダイヤル24

熱中症に要注意!

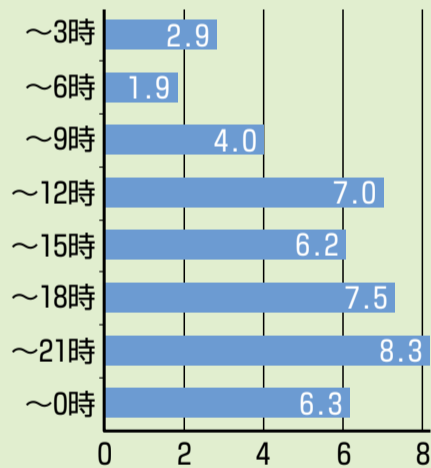
いよいよ夏本番。気温や湿度が上がると、熱中症の危険も高まります。体調が優れない日などは要注意。熱中症を正しく理解し、予防に努めましょう。

- ①小まめに水分・塩分を補給しましょう
喉の渇きを感じたら、小まめに水分・塩分を補給しましょう。
- ②体調の変化に注意しましょう
体調が良くない時は、外出や運動を控えましょう。
- ③室内環境を整えましょう
扇風機やカーテンなどを利用し、室温が上がらないようにしましょう。
- ④外出時は休憩を取りましょう
日傘や帽子を着用し、日陰で小まめに休憩しましょう。



問 健康医療課 ☎225局2174

時間帯別平均相談件数(単位:件)



1日の利用件数は?

健康相談ダイヤルの利用は、1日平均44件。病院の診療開始直後の時間帯と、夕方から深夜までの利用が多くなっています(上グラフ参照)。つながりにくい時は、時間を空けてかけ直してください。

どういうときに使えるの?

あつぎ健康相談ダイヤル24では、市民の皆さんのさまざまな健康相談にお答えしています。

- 夜中に赤ちゃんが熱を出した
- けがの応急手当てを教えてほしい
- 家族の介護について相談したい
- 夜間や休日などに受診できる医療機関を教えてほしい

↓
医師やカウンセラーが丁寧に相談をお受けします。



※一人でも多くの方が利用できるよう、適正な利用をお願いします。

あつぎ 元気Wave
CATV 7/1～放送

広報あつぎでは、自主財源確保のため広告掲載事業を実施しています。広告掲載の申し込みは(株)相鉄エージェンシー ☎045・450局1804へ。